

第15回 東海運動器フォーラムの御案内

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、
開催を中止させていただきます。

当番世話人：三重大学大学院医学系研究科
運動器外科学・腫瘍集学治療学
教授 須藤 啓広 先生

記

日時：令和2年2月29日(土)16:15～

場所：メルパルク名古屋 1階「輝」

愛知県名古屋市東区葵3丁目16-16 TEL 052-937-3535

【 学術情報 】 16:15～16:30

「テリボン 最近の話題」

旭化成ファーマ株式会社

【 特別講演Ⅰ 】 16:30～17:30

座長 藤田医科大学医学部 整形外科学講座

教授 藤田 順之 先生

『 脊椎骨粗鬆症に対する薬物療法と手術療法 』

東邦大学医学部 整形外科学講座(大森)

主任教授 高橋 寛 先生

≪ 休憩 17:30～17:45 講演Ⅱの単位受付を行います ≫

【 特別講演Ⅱ 】 17:45～18:45

座長 三重大学大学院医学系研究科

運動器外科学・腫瘍集学治療学

教授 須藤 啓広 先生

『 医療安全 -見果てぬ夢- 』

東京慈恵会医科大学 整形外科学講座

教授 丸毛 啓史 先生

講演終了後、情報交換会を予定しております。

* 下記の研修単位を取得できます。

・日本医師会生涯教育講座認定単位 合計2単位 <申請中>

特別講演Ⅰ：【77】骨粗鬆症(1単位)

特別講演Ⅱ：【7】医療の質と安全(1単位)

・日本整形外科学会研修会認定単位(1単位につき、1,000円の申請手数料を申し受けます。) 認定番号(19-3085)

特別講演Ⅰ：専門医資格継続単位 1単位 【4】代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)、【7】脊椎・脊髄疾患、【SS】脊椎脊髄病単位

特別講演Ⅱ：専門医資格継続単位 1単位 【14-1】医療安全

※参加費として1,000円を当日会場にて徴収させていただきます。御了承下さい。

共催：東海運動器フォーラム／旭化成ファーマ株式会社

【特別講演 I】

脊椎骨粗鬆症に対する薬物療法と手術療法

東邦大学医学部 整形外科学講座 (大森)
主任教授 高橋 寛 先生

高齢者の脆弱性骨折に伴う疼痛が日常生活動作 (ADL) を障害し、生活の質 (QOL) を低下させる。また、骨折に伴う ADL の減少は、高齢者の身体機能の低下をもたらす、負のスパイラルに囚われる。脊椎圧迫骨折は脊柱後弯変形が残存するため機能予後は悪く、欧米においては脊椎圧迫骨折患者の死亡率は非骨折患者よりも高いことが報告されている。

当院における脊椎手術症例の平均年齢推移も年々上昇しており、健康寿命の終了時期に脊椎手術を受ける方が 4 割を超えてきている。高齢化が今後益々加速する中、骨粗鬆症性椎体骨折受傷後の疼痛コントロールは ADL 回復において最も重要となる。

こうした現況を踏まえ、本講演では、当院で実施している脊椎骨粗鬆症への薬物治療と手術療法について概説し、その問題点と対策について私見を述べる。

【特別講演 II】

医療安全 -見果てぬ夢-

東京慈恵会医科大学 整形外科学講座
教授 丸毛 啓史 先生

医療機関や医療者にとって、医療安全・感染対策の徹底が最優先課題であることは論を俟たない。そうした中で、米国 Johns Hopkins 医科大学の Makary 教授のグループは、2016 年の British Medical Journal に米国における死因の約 10% (251,000 件) が “medical error” であり、がん、心疾患に次ぐ第 3 位であったことを報告している。驚くべき数字である。

私どもの大学附属病院でも、2002 年に旧青戸病院において、腹腔鏡下手術で患者さんが死亡し、3 人の医師が逮捕され有罪判決が確定した医療過誤事件を経験している。本件以降、当施設では、医学部教育を含めて、医療安全に対して絶え間のない取り組みを行っている。しかし、医療の進歩と共に医療技術や医療器機の高度化、医療行為の複雑化が進行する中で、様々な医療問題事例が発生していることは事実である。

こうした現況を踏まえ、講演では、最近の医療問題事例について概説し、その対策と医療事故の当事者にならないための方策について私見を述べる。



ホテルメルパルク名古屋
名古屋市東区葵 3 丁目 16-16
TEL : 052-937-3535

地下鉄東山線千種駅 1 番出口より徒歩約 1 分

地下鉄桜通線車道駅より徒歩約 5 分